

とうかん山古墳（熊谷市）

これは、とうかん山古墳の墳丘を後円部（左手）から前方部（右手）方向に見たところ/北側から見たところ

[video](#)



ここは、とうかん山古墳の前方部/手前に説明板が立っている/前方部の上には稲荷神社が鎮座する/南側から見たところ

[video](#)



6世紀中頃築造の前方後円墳/「とうかん山」の呼名の由来は、稲荷神社(おとうか様)や十日夜碑があることからきているらしい

埼玉県指定文化財

史跡 とうかん山古墳

指定 平成元年三月十七日
所在 大宇箕輪宇北麻

この古墳の名称は、墳頂に稲荷社（おとうか様）や十日夜碑があることから、とうかん山古墳と呼ばれています。

古墳の形は、前方後円墳であり、規模は、全長七四m、後円部の高さ五・五m、前方部の高さ六mです。時期については、発掘調査が実施されていないので明確ではありませんが、採集された埴輪破片から六世紀中頃と考えられています。かつて、この地域には多数の古墳が存在しており、本古墳はその中心的な古墳であったと思われます。現在では周辺の古墳は失われ幾つかが残るだけですが、その残された古墳の中でも本古墳は当時の原形をとどめていることで大変貴重なものと言えます。



古墳実測図

平成三年三月

埼玉県教育委員会
熊谷市教育委員会

墳丘南東側を前方部から後円部方向に見たところ

 [video](#)



正面が稲荷神社（おとうか様）

[video](#)





左下を見たところ



右上を見たところ



前方部墳頂から後円部方向を見たところ/左前方は吉見小学校

[video](#)



そこで、振り返って見たところ



「くびれ部」から後円部を見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



後円部墳頂に登る



後円部墳頂からその先の北東方向を見下ろしたところ/右下に慰霊塔が見える



振り返って、後円部墳頂から前方部方向を見たところ

 [video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



「くびれ部」から前方部を見たところ

 [video](#)



これは後円部の北東側にある慰霊塔越しに、後円部を見たところ/左手が前方部方向



後円部を背後から見たところ



これは西側から墳丘を見たところ/左奥が後円部、右手前が前方部

 [video](#)



前方は、とうかん山古墳（右手）の北側にある吉見小学校/この辺りは「北廓館跡」という城館跡であったらしい

[video](#)



吉見小学校には堀や土塁の跡らしき遺構も見つかっているという（なお、当時とうかん山は物見台の役目をしていたという）



参考ホームページ

<https://blog.goo.ne.jp/ihcirot/e/80129c6ac42a5a05d3c218cb2d4cbf33>

<http://homepage.obunko.com/iseki/kohun/tokanyama.htm>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12311649520.html>

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2018/04/15/000000>

<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/jousetu/bunkazai/038bunka.htm>

<http://kagura.wa-syo-ku.com/古墳/とうかん山古墳>

<https://kumagayasibunkazai.blog.ss-blog.jp/2016-06-08>

<http://yoshida-kofun.in.coocan.jp/saikuma5.htm>

<https://ckk12850.exblog.jp/14806306/>

